



カーボンニュートラルと 日本ガイシグループビジョン達成に向けて

2020年10月、政府により「2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする」、いわゆる「カーボンニュートラル」が宣言されて以降、日本経済は「脱炭素」に向けた取り組みを加速させています。また、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻により、ロシアに対して各国から経済制裁が発動され、世界中でエネルギー不足や高騰が発生しており、再生可能エネルギーの拡大や蓄電池の活用に一層の期待が寄せられています。

そうした中、日本ガイシグループでは2021年4月中長期ビジョンとして2050年に向けて「カーボンニュートラル」と「デジタル社会」に向けた関連製品に注力することを掲げており、当社としてもこのビジョンに沿って事業を展開してまいります。

当社は電力エネルギー関連企業として、カーボンニュートラル社会の実現に対する社会的責任を自覚しております。また、電力に限らず各種エネルギーを利用する設備には、消費量の抑制やロスの削減といった効率化がより厳しく求められるようになっております。当社は企業理念に沿って、こうしたエネルギーに関わる社会的課題の解決に貢献する高品質な製品・サービスを提供し続けることによって使命を果たしてまいります。

今後とも、皆さまから信頼され、愛され、必要とされる存在であり続けるために、企業活動の枠組みをより適正に構築してまいります。引き続きご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 藤原 聖

CONTENTS

- 1 トップメッセージ
- 2 企業理念／CSR推進体制／コーポレート・ガバナンス
- 3 企業行動指針／行動規範
- 9 エナジーサポートの製品紹介／会社概要／編集方針

- 10 社会性報告／お客さまとのかかわり
お取引先とのかかわり
地域社会とのかかわり
従業員とのかかわり
- 15 環境報告／環境マネジメント
環境負荷低減

企業理念

産業、生活、社会を変える、より良い未来を創る

- エナジーサポートグループは産業を変え、生活を変え、社会を変える力となり、より良い未来に欠かせない新たな価値を生み出すために存在する。
- 私たちは責任を持って正しいことのみを行い、私たち自身と私たちに関わる全ての人々に信頼と笑顔を広げていく。
- 私たちはお客様の求めに正確かつ迅速に応え、さらに期待を超える製品とサービスを創り出す。
- 私たちは技術の深淵を追求し、最新のビジネスを学び、それらを超えて新たな領域を切り拓く。
- 私たちは全員が持てる力を十分発揮し、誇りと喜びと共に助け合って成長できるよう、働く環境を改善していく。
- 私たちは妥協することなく進歩・進化・挑戦を繰り返し、今日を超える明日を目指す。



CSR推進体制

企業行動指針は、エナジーサポートおよびグループ会社の各事業所に勤務するすべての人を実践主体とするものです。この指針の遵守をより確実なものとするため、「CSR委員会規程」を定め、CSR推進部門を設置し「CSR委員会」および「CSR活動推進部会」を開催しています。委員会および推進部会は、指針に基づく法令および倫理の遵守などのコンプライアンスに関する事項を取り扱い、企画立案、周知徹底、ヘルプラインの運営、事案への対応、その他の関連業務を遂行しています。

コーポレート・ガバナンス

エナジーサポートは、グループ会社を含めコーポレート・ガバナンスの強化を経営の最重要課題の一つとして位置づけています。その考えのもと、会社法などで定められた事項および経営に関する重要事項の審議、決定または報告の手続きを取締役会において実施するほか、経営会議や戦略会議等においても審議をしています。経営および業務執行の監視は、取締役会および監査役制度により実施しており、監査役は上記会議に出席し、業務執行、法令遵守および内部統制状況等の監査を実施しています。また業務監査部による内部監査および監査役監査に当たっては当社の会計監査人と相互連携をとっています。また、企業の社会的責任を果たしていくため、NGKグループとして、コンプライアンスアンケート、リスクアセスメントなどを通じてリスクを認識・評価し、必要な対応を行って問題の未然防止に努めています。

NGKグループ企業行動指針

NGKグループは、「NGKグループ企業理念」を継続的に達成するために「NGKグループサステナビリティ方針」に基づき、公正かつ自由な競争の下、社会に有用な付加価値および雇用の創出と自律的で責任ある行動を通じて、持続可能な社会の実現を牽引する役割を担います。そのためNGKグループは、国の内外において次の8原則に基づき、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしていきます。



1. 持続可能な社会の実現

社会に資する商品やサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現に取り組めます。



2. 人権尊重

人権に関する国際規範を遵守し、人々の多様性を尊重します。



3. 安全・快適な職場環境の提供

安全・快適で誰もが働きやすい職場環境を提供します。



4. 誠実な事業活動

国際規範や各国および地域の法令を遵守し、公正かつ透明で誠実な事業活動を行います。



5. 企業情報の開示と説明

積極的な情報の開示とステークホルダーとの対話を通じて経営の健全性と透明性を高めます。



6. サプライチェーンへの社会的責任の浸透

取引先をはじめとするサプライチェーン全体で、社会的責任を果たす取り組みを推進します。



7. 地球・宇宙環境の保全

地球・宇宙環境の保全と問題の解決に取り組めます。



8. 地域、社会との協調

良き企業市民として地域、社会の発展に貢献します。

経営トップは、本指針の精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築してNGKグループ内に周知徹底を図ります。あわせてサプライチェーンにも本指針の精神に基づく行動を促します。

また、本指針の精神に反するような事態が発生した時には、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たします。



1. 持続可能な社会の実現

社会に資する商品やサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現に取り組めます。

- 私たちは、カーボンニュートラルやデジタル社会等に資する商品やサービスを技術革新により提供し、事業を通じた社会課題の解決に取り組めます。
- 私たちは、お客さまと社会からの新たなニーズや改善への要望に耳を傾け、商品やサービスの開発や改良を行います。
- 私たちは、安全性に十分に配慮し、環境規制を遵守した品質の高い商品やサービスを提供することにより、お客さまと社会からの信頼に応えます。



2. 人権尊重

人権に関する国際規範を遵守し、人々の多様性を尊重します。

- 私たちは、互いの個性と自主性および女性の権利を尊重し、人種・国籍・性別・性的指向およびジェンダーアイデンティティ・年齢・宗教・信条・障がいの有無などによる差別は行いません。
- 私たちは、職場における、ハラスメントや不快なまたは*¹非人道的な待遇の発生を防止し、発生があった場合には迅速に適切な対応をとります。
- 私たちは、*²強制労働や児童労働のない事業活動を行います。各国および地域の労働関連の法令を遵守し、若年労働者へ適正な労働条件を提供します。
- 私たちは、事業活動にともなう土地、森林、水資源の取得、開発、またはその他目的の使用において、強制立ち退きや、対象資源の収奪を行うなど先住民やその他関係者の権利を侵害しません。

用語の補足説明

*¹ 非人道的な待遇とは、労働者に対する暴力、ジェンダーに基づく暴力、セクシャルハラスメント、性的虐待、体罰、精神的もしくは肉体的な抑圧、いじめ、公の場での侮辱やみせしめ・晒し、または言葉による虐待等を指します。

*² 強制労働とは、強制、拘束（債務による拘束を含む）または拘留労働、非自発的または搾取的囚人労働、奴隷労働または人身売買を指します。



3. 安全・快適な職場環境の提供

安全・快適で誰もが働きやすい職場環境を提供します。

- 私たちは、各国および地域の労働関連の法令を遵守し、労働時間・休日・休暇・賃金・福利厚生などの労働条件を適正に提供します。
- 私たちは、各国および地域の法令に基づき、社員の結社の自由および団体交渉に関する権利を尊重します。
- 私たちは、各国および地域の安全衛生関連の法令を遵守し、社員が安全に安心して働ける職場を提供し、社員が心身ともに健康であることを追求します。
- 私たちは、仕事と生活の調和を図り、多様な働き方の実現を目指します。
- 私たちは、社員との誠実な対話と協議を通じて信頼関係を構築します。
- 私たちは、社員に教育の機会を与えると同時に、意欲・能力を伸ばす機会を提供します。



4. 誠実な事業活動

国際規範や各国および地域の法令を遵守し、公正かつ透明で誠実な事業活動を行います。

● 倫理に基づいた事業活動

私たちは、国際社会の一員として国内外の法令を遵守するとともに、各国および地域の文化や歴史を尊重し、高い倫理観を持って、誠実に行動します。決められたルールを守り、自信をもって仕事に取り組みます。

● 腐敗防止

私たちは、^{*3}贈収賄、横領、背任、^{*4}利益相反、^{*5}インサイダー取引、^{*6}マネー・ローンダリング、司法妨害、および個人や組織の利得のために自己の職務上の権限や地位を濫用する行為を行いません。また腐敗行為の包括的な防止に努めます。

用語の補足説明

^{*3} 贈収賄とは、不正な利益を得る目的で他者に金銭、贈答、接待等の供与（贈賄）を行うことを指します。その防止のためには、事業活動を行う各国および地域において公務員や政府関係者を含むステークホルダーと健全な関係を保ち、他者からのこれらの利益提供（収賄）は受けないことが重要です。また、贈答や接待は、業務上の正当な理由がある場合に限り、社会通念上妥当な範囲内で行い常習的な贈答、接待は避けなければなりません。さらに、許認可、ライセンスの取得、通関手続きなどの日常的なサービスを円滑かつ迅速に受けるために公務員に対して少額の金銭を支払う行為（ファシリテーションペイメント）も行ってはなりません。また、現金、備品、ソフトウェア、車両等、会社の資産を正当な業務目的のみに使用するとともに適切に管理し、自己または第三者のために利用しないことも重要です。

*4 利益相反とは、個人的な利害関係がある相手を取引先として選定したり、会社の事業と競合する事業を行うこと等、会社の利益を犠牲にして個人的な利益を得たり、親族や友人等第三者に利益を供与することを指します。

*5 インサイダー取引とは、会社や取引先等の未公表の重要な情報を用いて株式等の有価証券の売買を行うことを指します。それを行わないためには重要な情報の取り扱いに十分注意しなければなりません。

*6 マネー・ロンダリング（資金洗浄）とは、脱税、粉飾決算等、違法な行為によって得られた資金を隠蔽したり偽装することを指します。

● 公正な競争

私たちは、市場における自由な競争の重要性を認識し、各国および地域に適用される競争法を遵守して、公正かつ自由な競争を行います。私たちは、同業他社等とのカルテル行為、またはそのような行為に該当すると疑われる行為を一切行いません。

● 契約の確実な履行

私たちは、お客様および取引先との契約や合意を誠実かつ確実に履行し、信頼に応えます。事前に合意した条件による履行が難しい場合は、予め協議して両方で決定した条件で履行します。また、社会規範や法令に反する契約は一切締結しません。

● 個人情報・機密情報の保護

私たちは、個人情報に関する法令および社内ルールを遵守し、正当な業務目的がある場合に限り、個人情報を収集、利用し、厳格に管理します。また、会社および第三者の機密情報の管理を徹底し、漏洩防止に努めます。

● 知的財産の保護

私たちは、極めて重要な経営資源である*7知的財産権を積極的に創造、保護、活用します。私たちは、偽造／模倣品の排除に向け必要かつ適切な措置を講じます。私たちは、他者の知的財産権を侵害しないように努めます。

用語の補足説明

*7 知的財産権とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、等を指します。

● 確実な輸出入管理

私たちは、製品その他の貨物、技術およびソフトウェアの輸出にあたり、国際社会の平和と安全の維持等のため、関連法令及び社内規則を遵守し、適切な輸出入管理を行います。私たちは、製品等の輸出入にあたり、各国および地域の関連法令に従い、正しく通関申告を行います。

- **商品・サービスの品質・安全性確保**

私たちは、お客様との対話を通じて常に商品・サービスの品質向上に努めます。私たちは、品質に関するデータはお客様との約束にもとづいて取得・保管・確認を行い、データの盗用、改ざん、差し替え、隠ぺい等の不正行為は行いません。事故・不具合が発生した場合は直ちに適切な対応をとります。私たちの商品・サービスがお客様の安全に影響を及ぼすおそれが懸念される場合は、その発生、拡大を防ぐため迅速・適切に対応します。

- **正確な記録**

私たちは、適時・適切な情報開示を行うため、適用される法令や規則、社内ルールを遵守し、内部統制システムの確立と適切な運用により、財務情報及びその他の情報について正確な記録の作成と報告を行います。また、全ての記録は適用される法令や規則、社内ルールに沿って適正に保存・廃棄・消去を行います。

- **反社会的勢力への対応**

私たちは、反社会的勢力には毅然とした態度で臨み、一切関係を持ちません。反社会的勢力から接触があった場合は、個人で対応せず、直ちに上司（担当部門）に報告します。

- **行政との正常な関係維持**

私たちは、政治・行政と透明度の高い健全かつ正常な関係を維持することに努め、政治献金・寄付等は、各国および地域の法令に従って実施し、社会から疑念や不信感を招く行動はしません。

- **事業上のリスク管理**

私たちは、業務に関するリスクを常に意識してリスクマネジメントを実践し、リスクを把握して未然防止に努めます。リスクが発生した場合は、迅速に対応し、ステークホルダーへの影響の最小化に努めます。

- **内部通報制度の整備と報復の禁止**

私たちは、コンプライアンス違反またはその疑いのある行為を発見した場合は、速やかに上司または内部通報窓口に報告します。報告を行った者に対する報復は一切しません。



5. 企業情報の開示と説明

積極的な情報の開示とステークホルダーとの対話を通じて経営の健全性と透明性を高めます。

- 私たちは、社会が必要とする情報は、正確かつ速やかに開示します。
- 私たちは、ステークホルダーの声を真摯に受け止め、説明責任を果たします。また、ステークホルダーとの継続的な対話を通じて、信頼関係を構築します。



6. サプライチェーンへの社会的責任の浸透

取引先をはじめとするサプライチェーン全体で、社会的責任を果たす取り組みを推進します。

- 私たちは、取引先は対等なパートナーとして尊重し、信頼関係の構築と相互発展に努めます。
- 私たちは、責任ある資源調達の遂行、グリーン調達拡大を通じて、地域や社会の安全・発展に貢献します。
- 私たちは、サプライチェーン全体に人権尊重、良好な労働環境、法令遵守に支えられた誠実な事業活動を求めます。



7. 地球・宇宙環境の保全

地球・宇宙環境の保全と問題の解決に取り組みます。

- 私たちは、カーボンニュートラルへの貢献等、地球・宇宙環境の保全に貢献する商品やサービスを提供します。
- 私たちは、サーキュラーエコノミーに向けた行動や水資源の有効活用等、事業活動における環境負荷の低減に率先して取り組みます。
- 私たちは、生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組みます。
- 私たちは、各国および地域の環境関連の法令を遵守します。



8. 地域、社会との協調

良き企業市民として地域、社会の発展に貢献します。

- 私たちは、地域、社会の一員として社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、幅広いステークホルダーと連携・協働します。
- 私たちは、社員の自発的な社会貢献活動を積極的に推進・支援します。

エナジーサポートの製品紹介

暮らしや産業、社会の活動に必要な電力やエネルギーがスムーズに供給されるための下支え、そして環境への負荷を少なくすることが、当社の手がけるエネルギーサポート事業です。

配電機器

電力の安定供給に欠かせない配電線路の切替を行う開閉器や、変圧器を保護するカットアウト、励磁突入電流を抑制するLBS「エナミック」などを製造しています。

電力配電製品



開閉器



カットアウト

電設資材製品



励磁突入電流抑制機能付LBS
「エナミック」

分析・環境監視用計測機器

設備の最適な操業や省エネルギーに貢献しています。

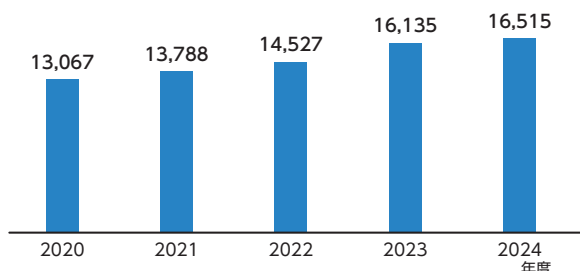


ジルコニア式TF-10酸素分析計

会社概要

社名	エナジーサポート株式会社
設立	1949年（昭和24年）12月15日
資本金	51億9,700万円余（2025年3月末現在）
従業員	226名（2025年3月末現在） ※臨時従業員およびパートタイマーは除く
事業内容	電気機械器具および計測機器の製造販売
本社・工場	愛知県犬山市字上小針1番地

売上高推移（連結） （百万円）



編集方針

エナジーサポートでは、当社が推進している社会貢献活動および環境保全活動を広く皆さまにお伝えするために2001年から毎年社会・環境レポートを発行しています。

本レポートには、当社の地域社会をはじめ、様々なステークホルダーとの関わりについての活動や環境負荷低減に関する具体的な活動を報告しています。

対象期間

2024年4月1日より2025年3月31日
（一部、3月31日以降の内容も含みます）

発行

2025年10月

対象範囲

本レポートは、エナジーサポート株式会社と、同サイト内の関係会社であるエナジス産業株式会社の活動内容を対象としています。



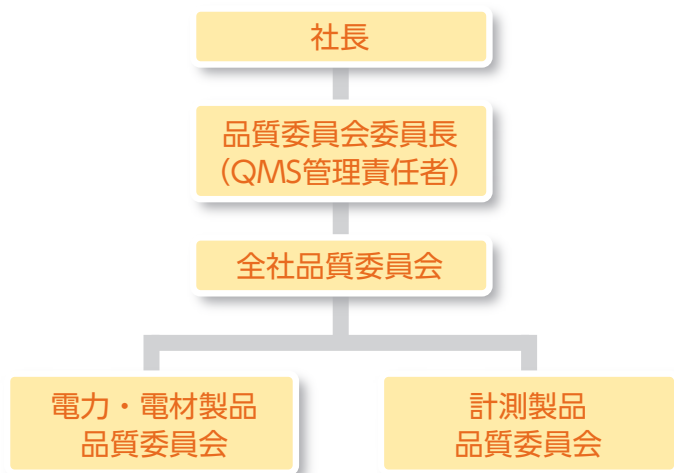
お客さまとのかかわり

エナジーサポートは、品質方針に基づきお客様に信頼され社会に貢献できる製品・サービスを提供するために、品質マネジメントシステムによる品質改善活動に取り組んでいます。

品質マネジメントシステム

暮らしや産業、社会の活動に必要な電力やエネルギーがスムーズに供給されるための下支え、そして環境への負荷を少なくすることが、当社のエネルギーサポート事業です。1996年には品質の国際規格ISO9001の認証を取得し、継続的な品質改善活動を推進しています。

○ 品質保証体系図



お取引先とのかかわり

エナジーサポートは購買活動にあたり、関連法規を遵守するとともに、公正、自由、透明な取引の実践により、お取引先と深い信頼関係を結べるよう心がけています。

お取引先に関する取り組み

日々の購買活動を通じ、「お取引先は当社の前工程である」との認識のもと、対等の立場に立ち、QCDIに優れたお取引先と長期的にお取引できる体制を築くことを目指しています。

相互情報交換および相互繁栄

お取引先との相互情報交換は共存共栄のための重要な課題と考え、年に4回主要なお取引先が一堂に会する「ビジネスパートナー会議」を開催しています。また、お取引先へNGKグループ調達方針、NGKグループサプライヤー行動規範の説明を実施し、持続可能な調達の実現に取り組んでいます。

1

安定的な購買活動と
相互信頼に基づく共存共栄

2

公正、自由、透明な取引を
前提とした
品質、価格、納期の確保

3

固有技術および専門知識の尊重

社会性報告



地域社会とのかかわり

エナジーサポートは、地域に貢献するための積極的な取り組みをしています。

社会貢献活動

エナジーサポートは、本社のある愛知県犬山市を中心に、よき企業市民としての責任を果たすべく、社会貢献活動に取り組んでいます。2024年度も、以下のような取り組みを継続的に行っています。



地域土砂災害避難訓練への協力



赤い羽根共同募金に協力



献血バス来社としての献血協力



従業員とのかかわり

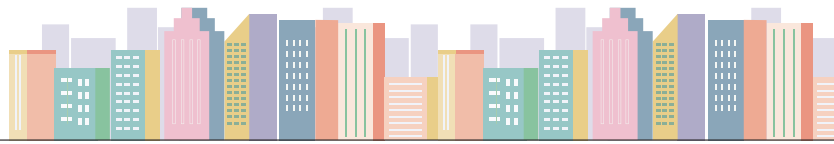
エナジーサポートは、NGKグループの一員として、一人ひとりが高みを目指し、広い視野を持って、変革を恐れず粘り強く挑戦できるよう、生き生きと働ける職場づくりと人材の育成に取り組んでいます。

働きやすい職場づくり

人権尊重

NGKグループ企業行動指針において、「人権に関する国際規範を遵守し、人々の多様性を尊重します。」などの項目を掲げ、従業員はもとより事業活動に関係する人々の人権を尊重するように取り組んでいます。

また、職場におけるいじめ、差別などのハラスメント防止および苦情対応のため、社内相談窓口に加え、弁護士による社外相談窓口を設置し、安心して働ける職場づくりに努めています。



ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

エナジーサポートは、従業員の仕事と生活の調和を大切にするための取り組みを行っています。

● 長時間労働の削減

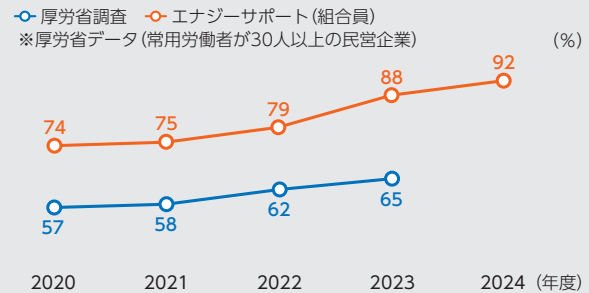
労働時間や休暇取得の実態は、毎月労働組合に開示し、意見交換や対策協議を実施しています。また、時間外労働削減を目的に週2日「定時退社の日」を設けることや、年次有給休暇の取得促進として「記念日休暇（10日／年）」を導入することで、ゆとりの時間の創造・活用を勧めています。

● 子育て支援

仕事と家庭の両立支援についても積極的に取り組んでおり、2022年3月には、子育てサポート企業として国の認定を受けました。今後も引き続き、仕事と子育ての両立を図るために必要な雇用環境の整備を行っていきます。

有給休暇取得率推移

※小数点以下四捨五入



全社員対象の制度

週2日の
定時退社の日
の運用徹底



・毎週水曜日
・毎週金曜日

時間単位
有給休暇制度
の導入



上限40時間
(5日分／年)

短時間勤務や
所定外労働の
免除



小学校3年生ま
までの子の養育を
必要とする場合

本人および配
偶者出産時の
出産祝金支給



両親が社員の
場合は双方に
支給

扶養する子の
いる社員への
家族手当支給



扶養家族の
上限なし

女性社員対象の制度

妊婦の定期健診
特別有給休暇
付与



1日／月

1日30分×2回
取得できる有給
育児時間付与



生後1年に満た
ない乳児がい
る場合

男性社員対象の制度

配偶者出産時の
特別有給休暇
付与



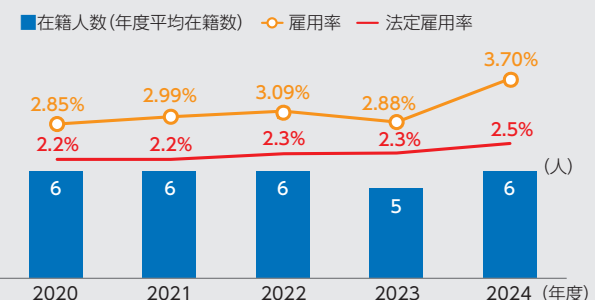
2日
(出産から2週間
以内)



障がい者に対する取り組み

エナジーサポートでは、現在6名の障がい者が働いており、雇用率は法定雇用率を上回る3.7%となっています。今後も企業の果たすべき役割として、障がい者が活躍できる環境作りに取り組みます。

当社における障がい者雇用の推移





従業員とのかかわり

人材の育成

教育・研修制度

入社時の基礎教育をはじめ、それぞれの段階に応じた教育・研修体系を整備し、年間計画に沿って実施しています。

また、通信教育等の自己啓発に対する奨励金支給制度を設け、従業員の業務に関連する知識、技能の向上を支援しています。



コンプライアンス研修 (ハラスメント研修)

	階層別研修	安全衛生	実務研修	自己啓発
役員	新任役員研修			
幹部職	新任幹部職研修			
一般職	監督者研修			
新入社員	新入社員研修 新入社員フォロー研修 (2・4年目)	安全衛生教育	技術者教育 コンプライアンス研修 社内外個別セミナー	通信教育 公的資格取得等奨励

人事評価

すべての従業員がモチベーション高く働き続けるためには、より公正で納得性の高い評価が行われることが重要です。

エナジーサポートでは、人事考課の位置づけ・評価基準等の理解徹底を図るため、毎年定期的に考課者訓練を実施し、公正・公平な人事評価を行っています。

防災活動

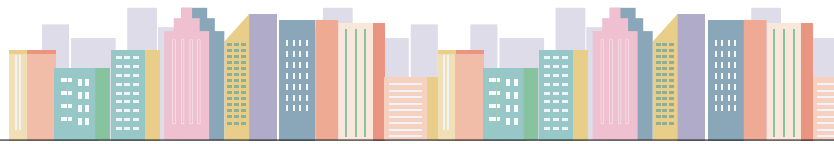
東海地区は、今後30年以内に南海トラフの大規模地震が発生する確率が高いとされています。東海地区で活動する企業として大規模な地震に備え、2024年度も緊急地震速報受信システムを使用し、防災訓練を行いました。また、自衛消防隊は定期的に放水訓練を行うなどして、災害に備えています。



緊急時消火訓練



避難防災訓練



労働安全衛生

エナジーサポートでは、労働安全衛生方針を掲げ、従業員が安心・安全・健康に働ける職場を目指しています。2024年度も、以下項目を掲げ、労働安全衛生活動を推進してきました。

項目	目標値	実績
① 「災害ゼロから危険ゼロ」の職場づくり	休業災害：0件	0件
	不休災害：0件	0件
② 過重労働健康障害予防対策	過重労働健康不調者：0人	0人
③ メンタルヘルスケアの推進	メンタルヘルス長期休業者：新規2人以下	2人
④ 地震防災対策の推進	安否確認メールの応答率：97%以上	93.8%
⑤ 車両関連事故の絶滅	業務上車両事故：0件	0件
	通勤途上車両事故：1件以下	1件

上記活動に加え、職場代表者による安全パトロールを毎月実施するとともに、全国安全週間、労働衛生週間行事の一環として、役員による安全パトロールも行いました。また、安全パトロールで示された改善事項は所管部門で対策・検討をした上で、全社の安全衛生委員会で再度内容を審議し、対策内容が十分であることを確認しています。

エナジーサポートは、職場の労働安全衛生環境の向上に更に努め、従業員が安心・安全・健康に働ける職場を目指していきます。



国内グループ会社合同の安全交流会



親会社との安全交流会



AED取扱い講習



危険疑似体感教育



環境マネジメント

エナジーサポートは、従来からの環境法令遵守はもとより、地球環境の現況を捉え、より積極的な環境保全活動に取り組むことが企業の社会的責任と考えています。環境保全に向けた環境方針を企業理念、NGKグループ企業行動指針に基づいて設定し、地球環境負荷の低減に向けた環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針

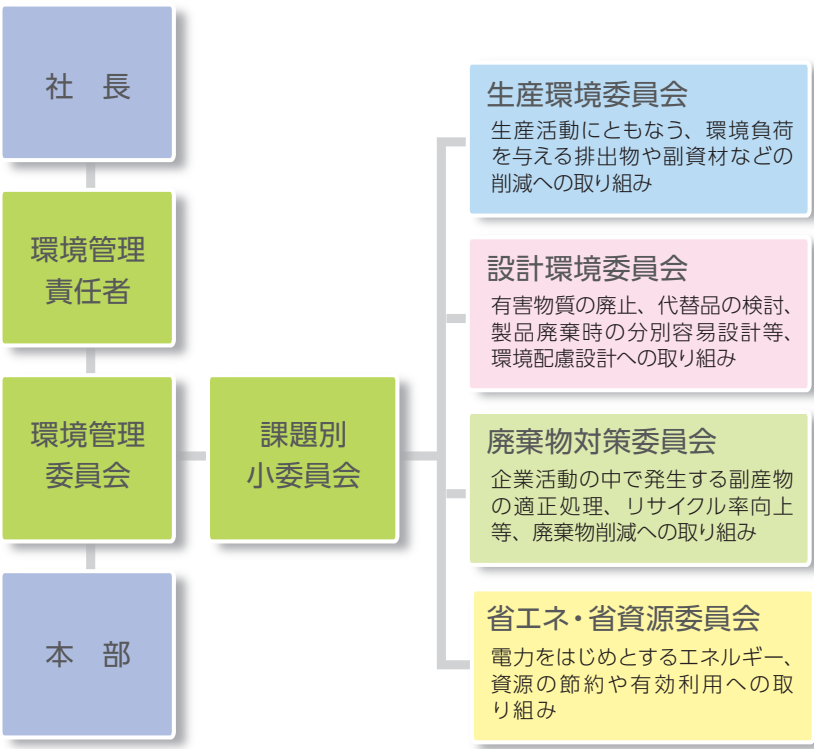
より良い未来のため、「環境に配慮した企業」を目指し、地球環境の保全に努めます。

- 省資源・リサイクルに配慮し、環境に優しい製品の開発に努めます。
- エネルギーの効率的な利用を推進し、CO₂排出量削減に努めます。
- 汚染の予防、産業廃棄物の削減に努めます。
- 化学物質の適正使用、適正管理を通して有害物質のリスク低減に努め、環境に配慮した材料・部品・製品・設備を優先的に調達・購入します。
- 緑化を進め、地域との共存に努めます。
- 環境目的・目標を明らかにし、見直しするとともに、システムの継続的改善に努めます。
- 国や自治体などの環境規則と自主管理基準などを守り、緊急事態や事故に備え、環境影響の予防、緩和に努めます。
- 環境意識向上のための教育に努めます。また、環境方針などの情報を公開します。

環境マネジメント体制と2024年度の計画と実績

環境保全に関する会社の方針・施策は、環境管理責任者（取締役）を委員長とする「環境管理委員会」と、必要に応じて「経営会議」で審議し意思決定を行います。環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を環境保全活動の有効なツールと捉え認証を取得し、継続的に内部監査・外部監査を行っています。また、新入社員教育や部門ごとの教育などにより環境方針を実現していくための教育・啓発に努めています。

○ 環境保全組織





設計・開発、物流、緑化などの取り組み

エナジーサポートでは、製品の開発や改良設計の段階で製品アセスメント（定性的）を義務付け、環境に配慮した製品の設計・開発に取り組んでいます。製品が使用後廃棄される場合に構成部品のリユース、リサイクルおよび適正な廃棄処理を可能にするために、構成部品ごとに材質を表示しています。

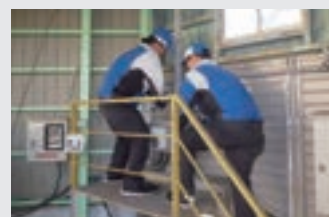
また、物流における環境負荷を削減するため、無駄な梱包材を削減・廃止し、製品や購入部品の搬出、搬入時の梱包箱はリユースできるよう通い箱化するなど、梱包を含めた物流の改善に注力しています。

地域および社内の緑化にも積極的に取り組んでいます。地域の緑化では、自治体緑化基金への参画等、緑化に関する事業への協力を推進し、社内では、建物の建て替え計画に沿った緑地の拡大や植樹に努めています。

トピックス

緊急事態や事故に備えての取り組み

生産工程から発生するアルカリ排水の河川流出を防ぐため、毎年訓練を行い環境影響への未然防止に努めています。



遮断ゲートを手で閉じる訓練

活動項目		目 標	2024年度活動結果
【ボイラー運転時のCO ₂ ガスの維持管理】 蒸気ボイラー都市ガスの使用量監視		毎月の都市ガス使用量を監視測定	毎月の都市ガス使用量の監視測定を実施（異常なし）
	【シリコニアセンサ製造に使用する水使用量の維持管理】 セル焼成炉冷却水の使用量監視	毎月の水使用量を監視測定	毎月の水使用量の監視測定を実施（異常なし）
【環境規制物質の法令遵守】 整合確認完了	製品含有化学物質管理ツール 「COLMINA」データベース構築		追加1機種の環境ツリー整備
	含有物質チェックリストとCOLMINAデータベースと整合性確認		主要製品12機種整合性確認
	COLMINA仮運用		抽出課題改善
【労働安全衛生法対応接着剤、補修塗料の適正使用】 代替品への切替及び補修塗装廃止	局所排気装置適用外の製造工程で使用する 接着剤及び補修塗料の代替、廃止対応を進める		代替品への切替及び補修塗装廃止を実施
【再資源化率の向上】 未使用廃棄物の排出量削減	調査・提案完了		重量、個数、処分費の調査を実施 未使用廃棄物（セメント、接着剤等）削減の提案を完了
【再資源化率の向上】 不要物の有効活用	有効活用量 1.0t		有効活用量 1.18t（鉄くず 0.69t、廃プラ 0.49t）
【再資源化率の向上】 廃棄物の分別間違い撲滅	引取業者からのフレーム件数 0件 環境情報の毎月配信		引取業者からのフレーム件数 0件 翌月の15日以内に毎月実績の配信
【省エネルギーの推進】 継続可能な省エネ体質の確立	毎月電力使用量の実績管理と情報発信 各部門の電力使用量の精度向上		毎月電力使用量を社内掲示板に配信 電力量計の取付け 新規：8箇所、更新：1箇所 100%完了
	省エネ推進 削減電力量 2.5MWh/月		削減電力量 2.72MWh/月
	創エネ検討		創エネの情報収集（再生可能エネルギーの導入、 太陽光発電の設置）
【CO ₂ 排出量の管理】 CO ₂ 排出量の把握	CO ₂ 排出量の把握		生産に起因する電気、都市ガス、LPG、軽油の CO ₂ 排出量を算出
【フロン類の管理】 フロン類漏洩防止	フロン機器の点検、整備 フロン機器の適正処分		簡易点検年4回実施（法令遵守） フロン回収による適正処分実施（破壊証明書受領）
【緑化の推進】 地域の緑化	緑地面積11.4%の維持		緑地面積11.4%の維持
【生物多様性保全の推進】 MY行動宣言の継続	社内展開実施		新入社員教育 MY行動宣言配布
【部門テーマ】	業務の効率化	2テーマ	24テーマ達成 （達成率：89%）
	リサイクル・省資源	8テーマ	
	法および要求事項の順守	10テーマ	
	危機管理への備え	5テーマ	
	地域貢献	2テーマ	



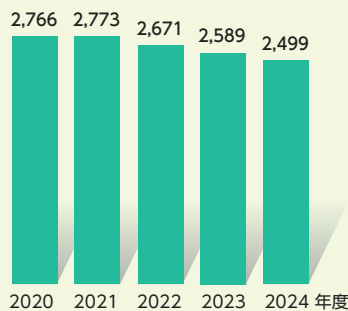
環境負荷低減

環境負荷の低減は、企業の存在と活動に必須の要件であり、かけがえのない地球を次の世代へと引き継ぐための重要な課題です。エナジーサポートは、この環境負荷低減に向けて、様々な取り組みを行っています。

電力使用量

(MWh)

INPUT



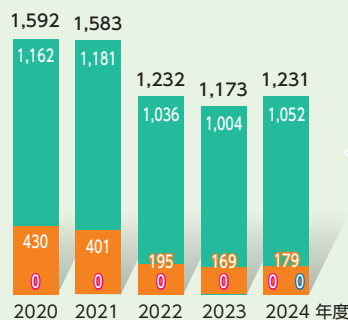
エナジーサポートでは、「省エネ・省資源委員会」を中心に電力使用量の削減計画（蛍光灯のLED照明化等）を策定し、全社的に活動しています。各部門においては、空調の効率化、空調温度管理の徹底、休憩時間の消灯の徹底を図るなどの省エネ活動に取り組んでいます。今後も各部門でエネルギーの無駄を見つけ出し、改善して削減する活動を推進してまいります。

(E)

エナジーサポートの事業活動による環境負荷

CO₂排出量（エネルギー起源）

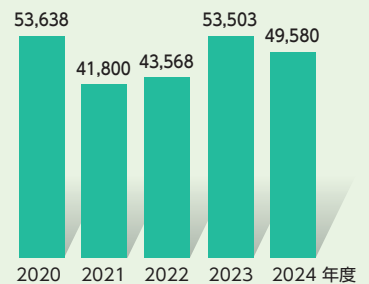
(t-CO₂) 購入電力 LPG 都市ガス 軽油



エナジーサポートのCO₂排出量の増減は、生産活動に使用する電力使用量に起因するものであり、技術部門および生産部門において、今後も省エネに結びつく取り組みを継続してまいります。また、2024年度は非常用発電機に使用する軽油を計上しております。

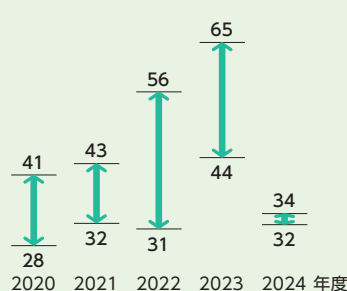
排水量（雨水含む）

(m³)



大気汚染物質 （窒素酸化物NO₂）

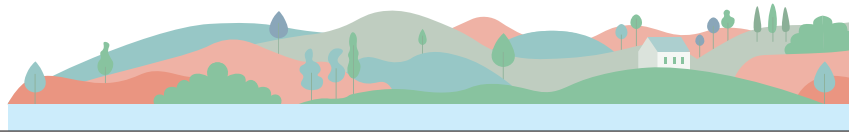
(ppm)



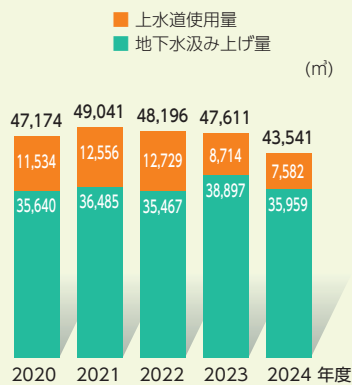
工場では、ボイラーの燃焼設備から排出されるばい煙・排ガス等による大気汚染を防止するために適切な運転管理に努め、設備の定期点検・メンテナンス、ばい煙測定を実施しています。2024年度の測定値はボイラー設備更新により良化しています。

OUTPUT

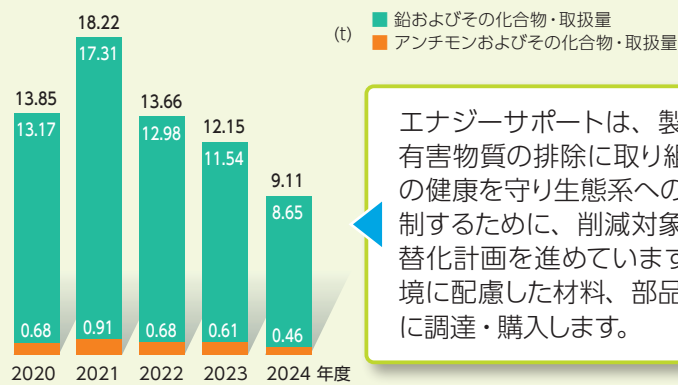




○ 用水使用量

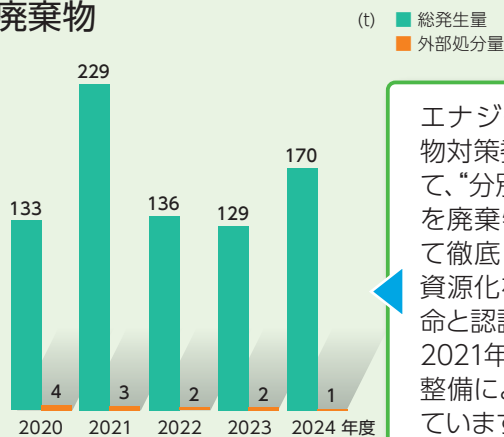


○ 化学物質取扱量



エナジーサポートは、製品からの有害物質の排除に取り組み、人々の健康を守り生態系への影響を抑制するために、削減対象物質の代替化計画を進めています。又、環境に配慮した材料、部品を優先的に調達・購入します。

○ 廃棄物



エナジーサポートは、一部の生産工程で地下水を使用しております。今後も地下水使用量の削減に取り組むとともに、適切な排水管理を行い、近隣河川の汚染防止に努めてまいります。

エナジーサポートは、「廃棄物対策委員会」が中心となって、「分別すればゴミじゃない」を廃棄物削減のモットーとして徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し、活動しています。2021年度、2024年度は社内整備により総発生量が増加しています。

トピックス

PCB廃棄物

エナジーサポートは、「PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」にしたがい、PCB廃棄物の無害化処理は、2024年度に全て完了しました。



エナジーサポート株式会社

〒484-8505 愛知県犬山市字上小針1番地
Tel.0568(67)0851 Fax.0568(67)4802
<https://www.energys.co.jp>



この報告書は、適切に管理された森林から生まれた「FSC®認証紙」を使用し、VOC（揮発性有機化合物）の発生を抑えた「植物油インキ」を使用し、有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。